



ライスアイランド

# RI weekly レポート

～ シリアル・ルネッサンス ～

<http://www.riceisland.co.jp>

## 会津の「Eね！本郷」農産物直売所

一味ちがう、りんごで作ったアップルパイをメニューにして、生産者ブランドを育てませんか！？

福島県会津に「Eね！本郷」という直売所がある。生産者会員数70人。オープンしてから2年目。女性のはりきっているのが印象的。  
星則子さん談：この辺のりんごは、うまい！

りんごは食べたら実にうまいりんごジュースがあった。あっさりしていて一味違うと評判をとってます。

その加工方法は、冬越しさせたりんごを、水分がぬけたものをしぼると、味が良くなるというのだ。りんごジュースも、ちょっとした工夫で、差別化が出てくると教えてくれました。

また、同地本郷のりんごが、都内のレストランで食材として使われ、アップルパイになり販売されています。

「会津本郷町のりんご生産者グループの さんが作ったりんごを使っています」をうたい文句にしてメニュー化されています。

レストランのシェフたちが訪れて生産者と交流、東京に帰っても土産話が一味かうのではないのでしょうか。

産直ものは、少量で運ばれる為、物流コストがかかるけれど、食べる人にはうけています。生産者の顔が見える農産物は、食べる人にとっても安心して楽しい。

いま直売所が増え続けています。  
全国の農産物直売所の実態調査を行った農林水産省消費統計室の久保係長によれば、現在、全国では約3000店以上の農産物直売所があります。

実態調査の回答のあった(2374件)農産物の直売所の総売り上げ額は、1772億円。  
直売所の年間購入者数は、1万人から5万人未満が、約31%。  
1万未満が29%  
20万以上が約10%。

食材を探す人にとって、作り手がわかり、安心して提供できる。作っている生産者も品質のよいもの安全なものを作ろうと意欲をだします。農Sは生産者ブランドの情報を集め、提案できることを目指しています。  
できた農産物を仕入れた時代から、産地を育て、農産物、農産加工品を育てるといった考えがこれからの方向なのです。農業の現場を知り生産者ブランドを育てていくこと。今、お客様が直売所に足を運ぶのは、そんないろいろな期待があるからではないでしょうか。

東北の農産物直売所も一部紹介します。

青森県とわだ市の「道の駅とわだ」地ビールがうまい！！ちょっと高いけど！！  
岩手県花巻市では「かあちゃんだあすこ」観光バスでくるお客様がいる直売所宮城県岩出山町では「あら・伊達の道の駅」東北一番の集客率秋田県大潟村では「産直センター潟の店」農産物の加工品が豊富福島県須賀川で「はたけんぼ」生産者800人。東北直売所売上ナンバー1茨城県の「ポケットファームどきどき」農業体験型直売所、森のレストラン

「みずほ村市場」食べる人のことを考えた高品質な農産物の品揃え